



## 今年もインフルエンザ対策を始めましょう

感染制御部

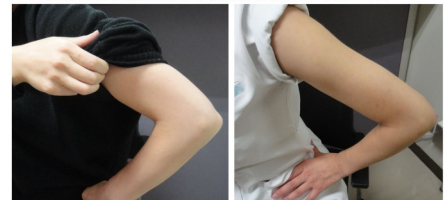
今年もインフルエンザの流行する時期になりました。今年の当院でのインフルエンザワクチンの接種日は**11月9～11日の3日間**となっています。沖縄県では今シーズンすでにインフルエンザ注意報が発令されています。是非この期間にワクチン接種を受けましょう。

ワクチン接種を受ける際には、**写真のように上腕を露出しやすい服装で来てください**。また、体調不良・妊娠・アレルギーなど接種してよいか迷っている場合は、気軽に接種会場でご相談ください。

ワクチンは100%インフルエンザを予防するものではありません。流行時期には手洗い・うがいを日々励行してください。発熱に加えて鼻汁・咽頭痛・咳嗽などの呼吸器症状がある場合には、無理に出勤せず病院を受診して診断を受けてください。

ワクチン接種を受けられる方へ  
**着席前にご準備ください**

ワクチンは肘上10センチ位の場所に接種しますので、  
長袖を着ている方はまくり上げておいてください。

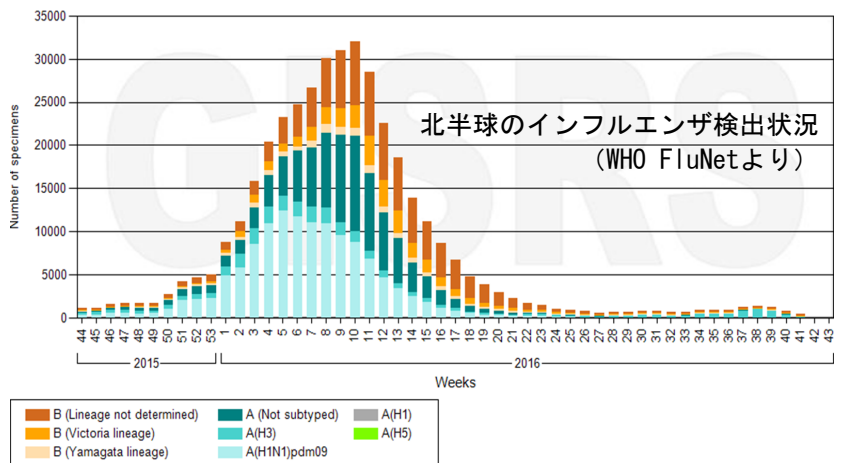


**ワクチン接種を受けやすい  
服装で来てください!**

### ◎インフルエンザ豆知識◎

#### ①昨年からワクチンが3価から4価に変わりました。

右図のようにA型に比べるとB型インフルエンザの検出数は少ないですが、毎年のようにB型の流行も見られています。世界的にB型の代表株としてビクトリア系統と山形系統がありますが、どちらの株が流行するかを予測するのが難しかったため、2013年からWHOはB型2系統を含めた4価ワクチンを推奨しました。これに伴い、欧米では2013/14シーズンから4価ワクチンが段階的に導入されるようになりました。昨シーズンより日本でもインフルエンザワクチンはそれまでのA型2種B型1種の3価ワクチンにB型1種を追加して4価に変わりました。これにより毎年後半に流行する傾向のあるB型インフルエンザに対する免疫強化が期待されています。



#### ②抗インフルエンザ薬に対する耐性ウイルスの検出

表は、2015/2016年シーズンにおける抗インフルエンザ薬耐性株に関する国立感染症研究所からの検出情報です。2009年に流行したパンデミック株に対して、臨床的にもっとも頻用されるタミフル、重症患者に対して投与されるラピアクタに対する耐性率はともに1.9%となっています。

世界で処方されるタミフルの75%は日本で処方されているという報告もあるぐらい、日本の抗インフルエンザ薬の使用量は多いといわれています。適切な処方方を心がけることも大切ですが、インフルエンザに罹患しないように普段から感染対策を心がけてください。

インフルエンザウイルス型		抗インフルエンザ薬			
		オセルタミビル (タミフル)	ペラミビル (ラピアクタ)	ザナミビル (リレンザ)	ラニナミビル (イナビル)
A(H1N1) pdm09	耐性株数 (%)	48 (1.9%)	48 (1.9%)	0	0
	解析株数	2,570	2,570	306	306
A(H3N2)	耐性株数 (%)	0	0	0	0
	解析株数	163	163	163	163
B	耐性株数 (%)	0	0	0	0
	解析株数	303	303	303	303